

鹿部町の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

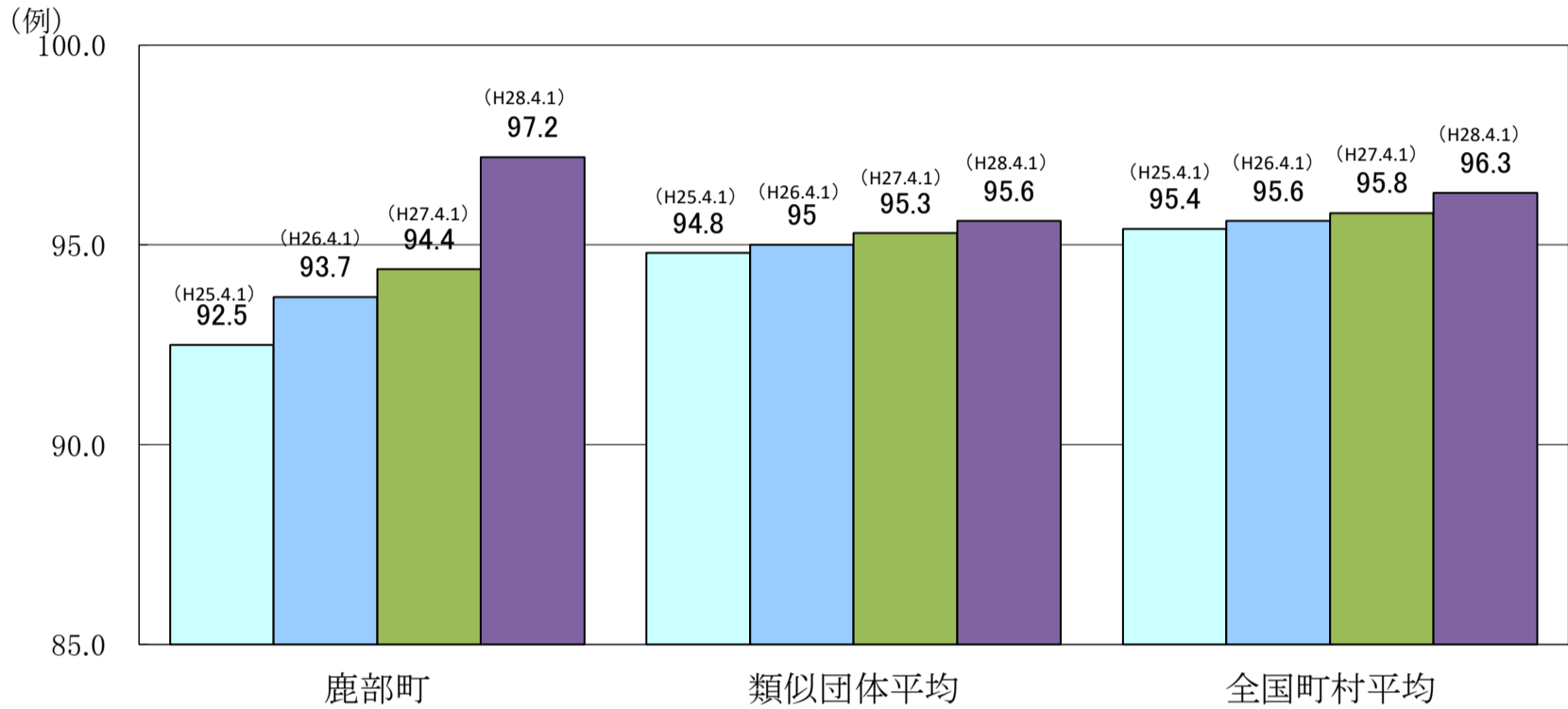
区分	住民基本台帳人口 (28年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 昨年度の人件費率
年度	人	千円	千円	千円	%	%
27	4,135	3,017,042	104,238	519,672	17.2	17.2

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与			計 B	(参考) 一人当たり給与費 B/A	(参考) 類似団体平均一人当 り給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当			
年度	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
27	65	220,608	16,429	82,559	319,596	4,917	5,459

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
2 職員数は、27年4月1日現在の人数である。

(3) ラスパイレス指数の状況



(注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純計算したものである。
3 平成25年は、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定・臨時特例法による給与削減措置がないとした場合の値である。

※ 28年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べて1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

等級別基準職務表を導入したことにより、課長職が全員6級となったため

(4) 給与改定の状況（当町では人事委員会未設置）

①月例給

区分	人事委員会の勧告				給与改定率	(参考) 国の改定率
	民間給与 A	公務員給与 B	較差 A-B	勧告 (改定率)		
27年度	円	円	円 (%)	%	%	%

(注) 「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレス比較した平均給与月額である。

②特別給（期末・勤勉手当）

区分	人事委員会の勧告				年間支給月数	(参考) 国の 年間支給月数
	民間の支給割合 A	公務員の支給月数 B	較差 A-B	勧告 (改定月数)		
27年度	月	月	月	月	月	月

(注) 「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年庵支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数である。

(5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引き下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

①給料表の見直し

[実施 未実施]

実施内容（平均引き下げ率、実施（実施予定）時期、経過措置の有無等具体的な内容（未実施の場合には、その理由）

（給料表の改定実施時期）平成27年4月1日
（内容）一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均2%引下げ。若年層については、行政職1級の全号俸と2級の初任給に係る号俸は引下げなし。激変緩和のため、3年間（平成30年3月31日まで）の経過措置（現給保障）を実施。

②その他の見直し

管理職特別勤務手当について、国と同様に見直しを実施。（平成27年4月1日実施）

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（28年4月1日現在）

ア 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
鹿部町	38.5 歳	282,400 円	313,100 円	300,317 円
北海道	44.8 歳	333,069 円	400,645 円	376,425 円
国	43.6 歳	331,816 円	- 円	410,984 円
類似団体	40.9 歳	297,503 円	339,537 円	326,381 円

イ 教育職（小・中学校（幼稚園））

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
鹿部町	30.0 歳	223,563 円	241,526 円
北海道	43.2 歳	364,549 円	421,596 円
類似団体	40.0 歳	280,594 円	302,504 円

(注) 1 「平均給料月額」とは、28年4月1日現在における職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額（国比較ベース）」は、比較のため、国家公務員と同じベース（＝時間外勤務手当等を除いたもの）で算出している。

(2) 職員の初任給の状況（28年4月1日現在）

区分		鹿部町	北海道	国
一般行政職	大学卒	176,700 円	176,700 円	176,700 円
	高校卒	144,600 円	144,600 円	144,600 円
教育職	大学卒	176,700 円	197,900 円	- 円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（28年4月1日現在）

区分		経験年数 10年以上15年未満	経験年数 15年以上20年未満	経験年数 20年以上25年未満	経験年数 25年以上30年未満
		大学卒	268,700 円	- 円	372,400 円
一般行政職	高校卒	- 円	264,400 円	322,300 円	336,600 円

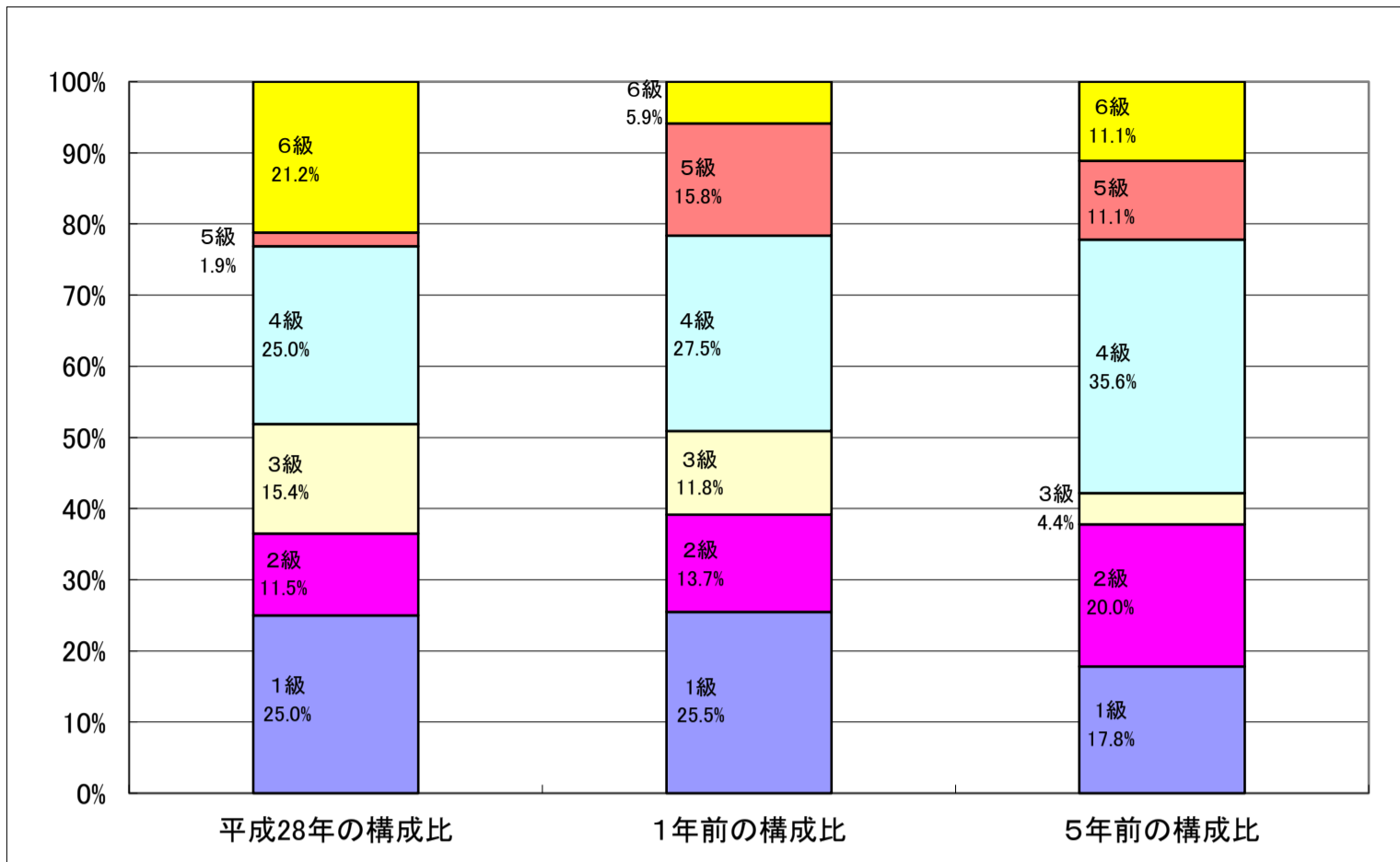
3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（28年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号級の給料月額	最高号級の給料月額
1 級	社会福祉士、主事、主事補	13 人	25 %	140,100 円	246,100 円
2 級	主事、技士	6 人	11.5 %	190,200 円	303,000 円
3 級	主査	8 人	15.4 %	226,400 円	348,800 円
4 級	係長	13 人	25 %	259,900 円	379,800 円
5 級	課長補佐又はこれに相当する職務	1 人	1.9 %	286,200 円	391,800 円
6 級	課長又はこれに相当する職務	11 人	21.2 %	317,000 円	409,000 円

(注) 1 鹿部町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

平成28年4月2日から平成29年4月1日 までにおける運用	鹿部町		国	
	管理職員	一般職員	特定管理職員	一般職員
イ 人事評価を実施した			○	○
標準に加え、上位及び下位の区分も適用			○	○
標準に加え、上位の区分も適用				
標準に加え、下位の区分も適用				
標準の区分のみ適用				
ロ 人事評価を実施していない	○	○		

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

鹿部町	北海道	国
1人当たり平均支給額(27年度) 1,187 千円	1人当たり平均支給額(27年度) 1,626 千円	—
(27年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.60 月分 (1.45) 月分 (0.75) 月分	(27年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.50 月分 (1.45) 月分 (0.70) 月分	(27年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.60 月分 (1.45) 月分 (0.75) 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5~15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職段階加算5~15%・管理職加算10~25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5~20%・管理職加算10~25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

○勤勉手当への勤務成績の反映状況(一般行政職)

平成28年度中における運用	鹿部町		国	
	管理職員	一般職員	特定管理職員	一般職員
イ 人事評価を実施した			○	○
標準に加え、上位及び下位の成績率も適用			○	○
標準に加え、上位の成績率も適用				
標準に加え、下位の成績率も適用				
標準の成績率のみ適用				
ロ 人事評価を実施していない	○	○		

(2) 退職手当(28年4月1日現在)

鹿部町			国		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分	勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分
勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分	勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分
勤続35年	41.325 月分	49.59 月分	勤続35年	41.325 月分	49.59 月分
最高限度額	49.59 月分	49.59 月分	最高限度額	49.59 月分	49.59 月分
その他の加算措置：定年前早期退職特例措置(2~45%)			その他の加算措置：定年前早期退職特例措置(2~45%)		
1人当たり平均支給額	561 千円	- 千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、27年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当

(28年4月1日現在)

支給実績(27年度決算)		96 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(27年度決算)		96 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
札幌市	3 %	1 人	3 %
地域手当補正後ラスパイレス指数 (ラスパイレス指数)		97.2 (97.2)	

(注) 地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。

(補正前のラスパイレス指数×(1+当該団体の地域手当の支給率) / (1+国の指定基準に基づく地域手当支給率) により算出。)

(4) 特殊勤務手当(28年4月1日現在) ※制度なし

支給実績(27年度決算)		0 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(27年度決算)		0 円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(27年度)		0.0 %	
手当の種類(手当数)		0	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 (27年度決算) <small>左記職員に対する支給単価</small>

(5) 時間外勤務手当

支給実績(27年度決算)	9,222 千円
職員1人当たり平均支給年額(27年度決算)	174 千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(〇年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当(28年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (27年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (27年度決算)
扶養手当	①配偶者 13,000円 ②配偶者以外の扶養親族 1人6,500円 ③15歳に達する日後の最初の 4月1日から22歳に達する日 後の最初の3月31日までに ある子 1人5,000円加算	同		7,022 千円	260,074 円
住居手当	家賃の額が12,000円を超える 借家等の場合、家賃の額に応 じて27,000円を限度に支給	同		912 千円	304,000 円
通勤手当	①公共交通機関を利用の場合 55,000円を限度に運賃相当 額を支給 ②自動車等を使用する場合 通勤距離に応じ31,600円を 限度に支給	同		2,573 千円	171,546 円
管理職手当	管理又は監督の地位にある職 員に対して、給料月額に支給 率(8~10%)を乗じた額を支 給	異	※国では 定額支給	5,757 千円	442,916 円
寒冷地手当	世帯主のうち、扶養親族のあ る職員は月額22,540円、扶養 親族のいない職員は12,860 円、その他の職員は8,600円	同		5,565 千円	78,387 円

5 特別職の報酬等の状況（28年4月1日現在）

区分		給料		月額		額		等	
給料	町長	729,000	円	(参考) 類似団体における最高/最低額					
	副町長	604,500	円	830,000	円/	492,000	円		
報酬	議長	239,000	円	316,000	円/	176,000	円		
	副議長	185,000	円	255,000	円/	122,400	円		
	議員	158,000	円	233,000	円/	103,000	円		
期末手当	町長	(27年度支給割合)							
	副町長	4.20 月分							
退職手当	議長	(27年度支給割合)							
	副議長	4.00 月分							
退職手当	町長	(算定方式)				(支給時期)			
	副町長	退職日における給料月額×在職年数×5.126				任期終了後			
	備考	退職日における給料月額×在職年数×3.234				任期終了後			

6 職員数の状況

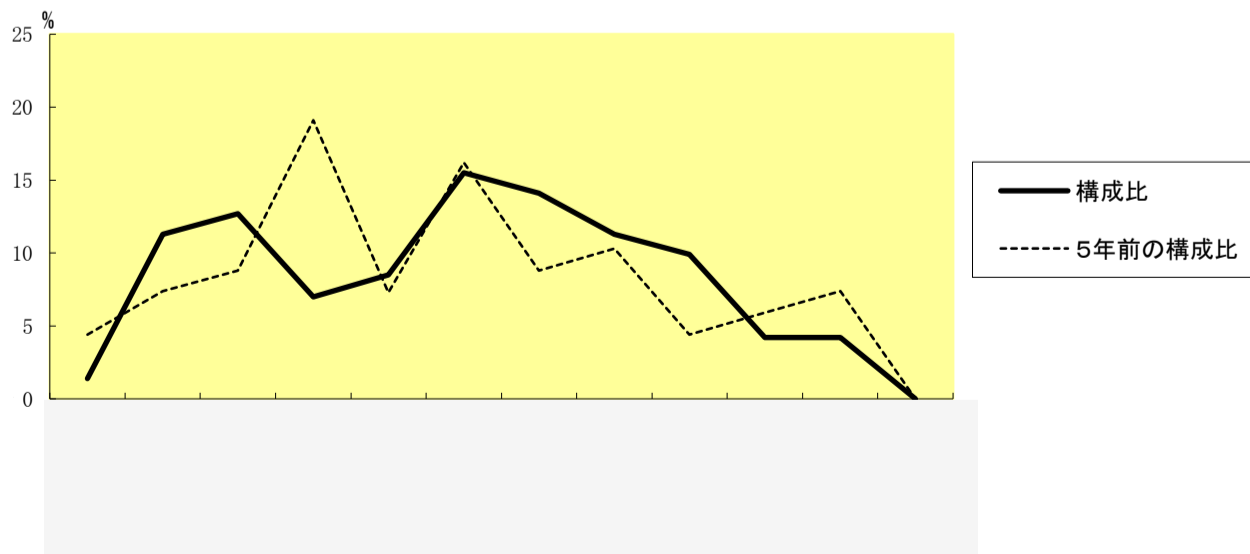
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

部門	区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由
		平成27年	平成28年		
普通会計部門	議会	2	2	0	企画用務の増加のため
	総務	14	15	1	
	税務	5	5	0	
	農水	4	4	0	
	商工	4	4	0	
一般行政部門	土木	6	6	0	衛生業務の増加のため
	民生	8	8	0	
	衛生	6	7	1	
	計	49	51	2	
	教育	16	15	△1	退職による欠員
	小計	65	66	1	<参考> 人口1万人当たり職員数 159.61 人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 213.85人)
公営企業等 会計部門	水道	2	2	0	
	国保等	2	2	0	
	介護	1	1	0	
	小計	5	5	0	
合計		70	71	1	
		[77]	[81]	[0]	

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。
2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（28年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳	24歳	28歳	32歳	36歳	40歳	44歳	48歳	52歳	56歳	60歳	計
職員数	1人	8人	9人	5人	6人	11人	10人	8人	7人	3人	3人	0人	71人

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

部門別	年度	23年	24年	25年	26年	27年	28年	過去5年間の増減数(率)
一般行政		43	44	46	47	49	51	8 (18.60%)
教育		20	17	17	17	16	15	▲5 (▲25.00%)
普通会計計		63	61	63	64	65	66	3 (4.76%)
公営企業等会計計		6	6	6	6	5	5	▲1 (▲16.67%)
総合計		69	67	69	70	70	71	2 (2.90%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

7 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

ア 職員給与費の状況

決算

区分	総費用 A	純損益又は実質収支	職員給与費 B	総費用に占める職員給与費比率 B/A	(参考) 26年度の総費用に占める職員給与費比率
年度	千円	千円	千円	%	%
27	82,634	22,406	19,100	23.1	21.5

区分	職員数 A	給与費				一人当たり給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
年度	人	千円	千円	千円	千円	千円
27	2	8,367	1,140	3,383	12,890	6,445

(参考) 類似団体平均 一人当たり給与費
千円 6,191

(注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
2 職員数は、平成28年3月31日現在の人数である。

イ 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況(28年4月1日現在)

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
鹿部町	49.0 歳	373,875 円	537,100 円
団体平均	44.7 歳	346,797 円	514,785 円
事業者	— 歳	— 円	— 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

ウ 職員の手当の状況

(ア) 期末手当・勤勉手当

鹿部町	水道事業(一般行政職・団体平均等)
1人当たり平均支給額(27年度) 1,309 千円	1人当たり平均支給額(27年度) 1,691 千円
(27年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.60 月分 (1.45) 月分 (0.75) 月分	(27年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.60 月分 (1.45) 月分 (0.75) 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5~15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5~15%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

(イ) 退職手当(28年4月1日現在)

鹿部町	水道事業(一般行政職・団体平均等)
(支給率) 自己都合 20.445 月分 応募認定・定年 25.55625 月分	(支給率) 自己都合 20.445 月分 応募認定・定年 25.55625 月分
勤続20年 20.445 月分	勤続20年 20.445 月分
勤続25年 29.145 月分	勤続25年 29.145 月分
勤続35年 41.325 月分	勤続35年 41.325 月分
最高限度額 49.590 月分	最高限度額 49.590 月分
その他の加算措置：定年前早期退職特例措置(2~45%)	その他の加算措置：定年前早期退職特例措置(2~45%)
1人当たり平均支給額 561 千円	1人当たり平均支給額 — 千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、27年度に退職した職員に支給された平均額である。

(ウ) 地域手当

(28年4月1日現在)

支給実績(27年度決算)		0 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(27年度決算)		0 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
	%	人	%

(エ) 特殊勤務手当 ※制度なし

(28年4月1日現在)

支給実績(27年度決算)		0 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(27年度決算)		0 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合(27年度)		0.0 %		
手当の種類(手当数)		0		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績(27年度決算)	左記職員に対する支給単価

(オ) 時間外勤務手当

支給実績(27年度決算)	309 千円
職員1人当たり平均支給年額(27年度決算)	155 千円

(注) 1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(27年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

(カ) その他の手当

(28年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績(27年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(27年度決算)
扶養手当	①配偶者 13,000円 ②配偶者以外の扶養親族 1人6,500円 ③15歳に達する日後の最初の4月1日から22歳に達する日後の最初の3月31日までにある子 1人5,000円加算	同		606 千円	303,000 円
寒冷地手当	世帯主のうち、扶養親族のある職員は月額22,540円、扶養親族のいない職員は12,860円、その他の職員は8,600円	同		226 千円	113,000 円